

青郷小だより

令和5年 1月号
高浜町立青郷小学校



壁を越える



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
厳しい冬の寒さに耐えながら、静かに春を待つ桜の樹の下を、冬の装いをまとった子ども達が元気に登校してきました。

昨年末、ある会社が小学生を対象に意識調査を実施し、その結果を発表しました。その中で気になった調査項目が1つありました。
「小学生の憧れの人ランキング 2022」というものです。

その結果、第1位は「友達」でした。理由は、「スポーツが得意」「勉強ができる」というものでした。

ちなみに、第2位は「お母さん」、理由は「やさしい」「毎日いろんな仕事をがんばっている」というものでした。

そして、残念なことに「お父さん」は、この調査開始3年目にして、初めてトップ10に入らなかったそうです。

成長する過程において、「9歳の壁」があると、聞いたことがあります。
9歳の頃（小学校3・4年生）になると、8歳の頃（小学校2年生）までには見られなかった、次のような変化や行動が見られることが多くなるそうです。

- ◇ 脳が発達し自分を客観的に見ることができるようになり、人と自分を比べることが多くなる。
- ◇ 抽象的な内容の学習が増え、勉強を難しいと感じる子どもが増える。
- ◇ 人と自分を比較して、「自分は人より劣っている」と思い込み、自己肯定感が低くなることが多い。
- ◇ 自己肯定感が低くなると、「意欲が失われる」「忍耐強さがなくなる」「投げやりになる」ということが増えてくる。
- ◇ それでも「何とか優位に立って、自信を取り戻したい」と思うあまり、次のような行動が増える。

「言葉遣いが急に荒くなる」
「反抗的な態度 や 攻撃的な態度をとる」
「自分勝手な振る舞いをする」

これらは、全て子ども達の成長の証で、わざとそのような行動をしているのではなく、「子ども自身が、焦ったり苦しんだりしている」サインだそうです。

もしかすると、第1位の「友達」は、友達と比べて「自分の方が劣っている」という気持ちからの「憧れ」なのかもしれません。

様々な場面で友達と自分を比較し、悩み苦しんでいる子ども達。
そのサインを見逃さず、人と比較するのではなく、一人一人のよいところや個性を認め、子ども達に寄り添う青郷小学校でありたいと思っています。

青郷グランプリ

～ わがクラスNo.1 宣言～

- ◇ 目標に向けて取り組むことで、学級への所属意識と仲間意識を高める。
- ◇ 先生に頼らず自分達で目標を決めて取り組むことで、やらされるのではなく、自分達でやろうという、主体的な姿勢を育む。
- ◇ 取組を他学年や外部にPRすることで、自己有用感を高める。

本年度も、児童委員会が中心となり「青郷グランプリ」を全校に提案し、その活動が始まっています。

子ども達が話し合っ、自分達の学級の宣言を決めました。また、目標に向かってどのような活動をするのかということも、全て子ども達で決めました。

それぞれの学級が、今後どのような活動を行い、まとまっていくかということを楽しみにしながら、温かく見守っていきたいと思います。

1年宣言



あいさつ そうじ No.1

2年宣言



ベル着 No.1

3年宣言



仲よし No.1

4年宣言



仲良し 笑顔 No.1

5年宣言



行動力 No.1

6年宣言



笑顔 No.1

※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



< <http://seikyo.takahama-town.com/> > 学校ブログ <QRコード>